



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2013年（平成25年）11月5日号 No. 1610

## 目次

■ 2013年1～9月の日ロ貿易 —輸出の前年割れが続く—	1
■ 統計速報 2013年1～9月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／6	6
■ キーパーソン グルジアでマルグヴェラシヴィリ新大統領誕生／7	7
■ トピックス 日露都市環境協議会が発足／8 日本政府がウクライナをWTOに提訴／8	8

## 2013年1～9月の日ロ貿易 —輸出の前年割れが続く—

### はじめに

日本財務省から、2013年1～9月期の貿易統計が発表されたことを受け、当会では1～9月の日本とロシア間の貿易に関し、輸出入商品構成をまとめたので、早速これを紹介したい。なお、ロシア以外のNIS諸国との輸出入動向も「統計速報」のコーナーに掲載しているので、あわせてご参照いただきたい。

2013年1～9月期の日ロ貿易をドル換算したところ、輸出入合計で255億1,999万ドルとなり、前年同期比0.4%増と、かろうじてプラスを維持している。日本側の輸入が168億5,263万ドルで、前年同期比8.8%増と堅調だったのに対し、輸出は86億6,736万ドルに留まり、前年同期比12.8%減を記録した。その原因は、日本の対ロシア輸出の大黒柱である自動車輸出が減少に転じていることにある。表3に見るように、2013年2月以降、新車の乗用車の輸出が前年同月の水準を下回って推移している。2013年に入ってロシア乗用車販売市場に陰りが見えることに加え、ロシアでの現地生産の拡大や、日系メーカーの第三国工場からの輸入への切り替えといった要因が重なっているものと見られる。

なお、表1が月ごとの為替レートで換算した数値を積み上げたものであるのに対し、表2、4は半年間の平均レートで単純に換算したものであり、ゆえに総額が微妙に異なる。